

第1節 自然環境の保全

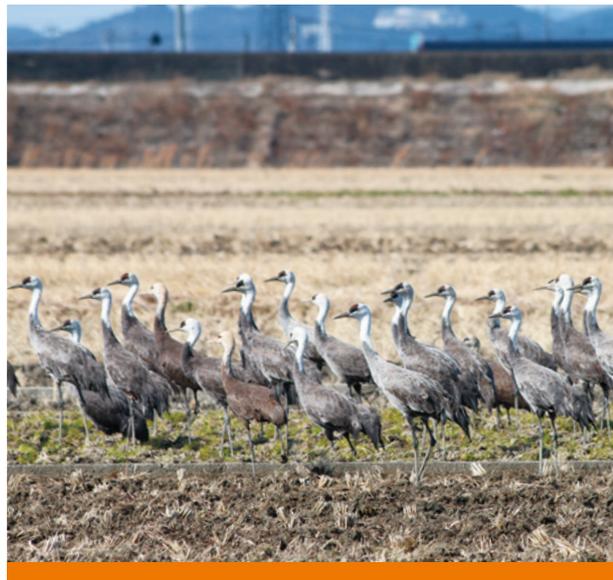
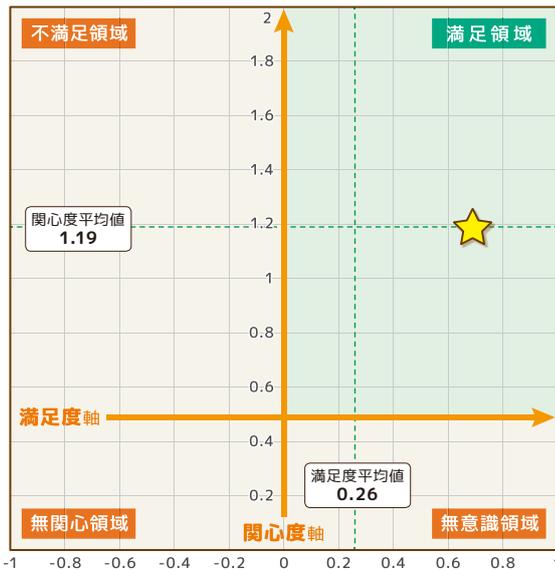
みんなで実現しよう

- 生物多様性を保全する地域社会
- 豊かな自然環境を持続可能な形で利用する地域社会
- 豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいく地域社会

まちづくり指標（めざそう値）

指 標	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
市民の自然環境の保全に関する関心度を向上します ※上限値を2、下限値をマイナス2に設定し算出	1.197	1.500

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



絶滅危惧種に指定されているナベヅルが越冬のため渡来

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

★ 重点保全地点・地区（31か所）の
設定目標※1を達成



関係する
個別計画

- 第2期西条市環境基本計画（平成29年度～令和8年度）
- 生物多様性西条市地域連携保全活動計画（平成27年度～令和6年度）

施策の内容

(1) 自然環境の保全に努めます

市全域における生物多様性の保全を図ることを目的に、重要保全地点・地区における絶滅危惧種を含めた重点保全種※2の保護に取り組むとともに、それらをはぐくむ生態系全体を意識した活動を支援するなど、生物多様性地域連携保全活動を推進します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
自然環境を守る活動に取り組む市民団体を増加します (累計)	8団体 (令和元年度)	10団体
市内で開催される自然観察会・ワークショップの参加者数を増加します	126人 (平成30年度)	140人

※1・※2 重点保全地点・地区及び重点保全種

生態系	重点保全地点・地区	重点保全種
山岳	1 標高1,700m以上の地域	高山性植物、カヤクグリ、タカネリクワガタ
	2 標高1,000m以上の自然林	ブナ林や溪谷林など、クマタカ、コノハズク、成就周辺の夏緑林
山地	3 藤之石の主谷、桂谷 (基安谷)	ケヤキ、サワグルミ、カツラ、ユキワリソウなど
	4 丹原町鞍瀬及び大野霊神社社叢	ケヤキ、サワグルミ、カツラ、ミヤマトベラなど
	5 高瀬溪谷	キレンゲショウマ、イヌトウキ
	6 丹原町明河余野	マダイオウ
	7 丹原町鞍瀬・明河・楠窪地域	ヒメミゾシダとミゾシダモドキ
	8 その他部分的に残存する自然林	ケヤキ、サワグルミ、カツラなど
里地	9 下島山地域のため池群	ミズスギナなどRDB種
	10 小松町新屋敷地域のため池群	エゾハリイなどRDB種
	11 小松町明穂地域のため池群	サイコクヌカボなどRDB種
	12 小松町大谷池	サイコクヌカボなどRDB種
	13 上市・安用地域のため池群	トリゲモ類などRDB種
	14 福成寺大明神池周辺のため池群	イヌノハナヒゲ類などRDB種数種類
平野	15 丹原町久妙寺地域のため池群	イバラモ類などRDB種
	16 中山川河口域ツル類渡来地	ツル類
	17 渦井川湧水群	湧水群
	18 加茂川湧水群	湧水群
	19 中山川湧水群	湧水群
	20 ハッチョウトンボ生息地	ハッチョウトンボ
	21 大兵衛水田水路	ヒロハヌマゼリ
	22 下島山地域の放棄水田群	トリゲモ類などRDB種
	23 中野地域の水田群	ミズオオバコなどRDB種数種類
海岸	24 禎瑞の汐取川	ヒルムシロ属植物などRDB種
	25 三津屋の大曲川	ミクリ
	26 加茂川河口干潟と海浜	フクド、キヌカツギハマシイノミ、シギ・チドリ類、ナルトアナジャコ、クシケマスオガイ、マゴコロガイ、トリウムアカイソモドキ、シタゴコロガイ、イヨカワザンショウ、オオヒメアカイソガニ
	27 河原津干潟と海浜	ハマニガナ、カワラサイコ、クシケマスオガイ、マゴコロガイ、トリウムアカイソモドキ、シタゴコロガイ、カブトガニ、オオヒメアカイソガニ
	28 高須海岸	オオヒメアカイソガニ
河川	29 高田の汽水水路	チャボイ、カワツルモ
	30 中山川 (中山川橋より下流)	カジカ
	31 加茂川 (黒瀬ダムより下流、谷川を含む)	カジカ

重点保全地域 (広域が対象)

生態系	重点保全地域	重点保全種
水域	新川水系から渦井川水系までの平野部における水域ネットワーク	カジカ
	新川水系から渦井川水系までの平野部における水域ネットワーク	メダカ、ドジョウ、ナマズ、フナといった氾濫原依存種
	山地域における溪畔林	サワグルミ、カツラ、ケヤキなど溪谷性樹木

※ 重点保全地点・地区の設定目標などの詳細は「生物多様性西条市地域連携保全活動計画」を参照

第2節 水資源の保全

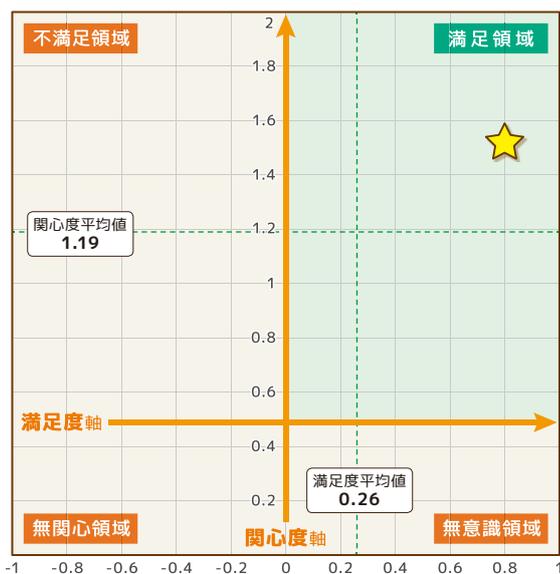
\\ みんなで実現しよう //

- うちぬき文化を未来へつなぐ地域社会
- 市民共有の財産である地下水をすべての市民が利用できる地域社会
- 行政のみならず市民や事業者が一体となって地下水を保全する地域社会

まちづくり指標（めざそう値）

指 標	基準値（平成30年度）	目標値（令和6年度）
市民1人ひとりの水使用量を抑制します	298m ³ /日	284m ³ /日

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



地下水は市民全体の財産

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 地下水位の低下を抑制
- ★ 地下水保全条例の適用範囲の拡大



関係する
個別計画

- 西条市地下水保全管理計画（平成29年度～）

施策の内容

(1) 「うちぬき文化」を守り、育て、次世代へ引き継ぎます

西条市の地下水は豊かな自然環境の中で生まれ、古くから人々によって育まれてきています。西条市の財産である地下水を守ることを目的に、他の地域では得られない様々な恩恵を地下水から享受していることを強く認識したうえで、「うちぬき文化」を守り、育て、次世代へ引き継ぎます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
生活用水の使用量を抑制します	298m ³ /日 (平成30年度)	284m ³ /日
企業活動における地下水利用量を抑制します	15,466m ³ /日 (平成30年度)	15,000m ³ /日
農業用水としての水利用量を抑制します	—	数値化し削減する

(2) 健全な水環境の保全に対する意識の向上を図ります

地域が地域の実情にあった保全活動や条例による規制によって保全・管理する地下水を「地域公水」と位置づけ、関係者が一体となって市民共有の財産である地下水を守っていくことのできる体制を整備し、健全な水環境の保全に取り組みます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
塩化物イオンの濃度の上昇を抑制します	290mg/l (平成30年度)	290mg/l
硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素濃度の上昇を抑制します	8.3mg/l (平成30年度)	8.3mg/l



第3節 生活環境の整備

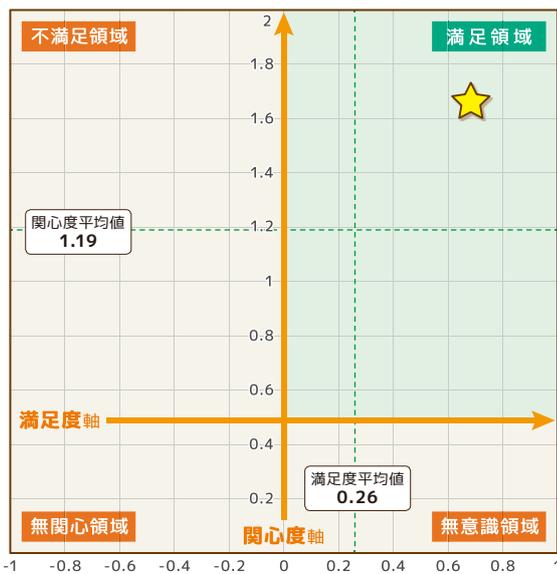
\\ みんなで実現しよう //

- 3R (リデュース・リユース・リサイクル) を促進し、循環型社会の形成を目指す地域社会
- 水洗トイレが使える清潔で快適な住みよい地域社会
- まちの川や海の水質がきれいな環境の地域社会

まちづくり指標 (めざそう値)

指 標	基準値 (令和元年度)	目標値 (令和6年度)
住みやすいと回答する市民の割合を向上します	38.5%	60.0%

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



みんなで「ごみ」について考える

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ!
(施策の決定要因)

- ★ 市全体のごみ排出量の抑制
- ★ 汚水処理人口普及率の向上



関係する
個別計画

- 西条市一般廃棄物処理基本計画 (平成29年度～令和13年度)

施策の内容

(1) 3R (リデュース・リユース・リサイクル) を促進します

3Rの促進による循環型社会の構築を目的に、廃棄物の適正な処理、不法投棄の防止、最終処分場の適正管理などの環境に配慮した施策を推進します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
道前クリーンセンターの延命化工事を実施します (累計)	0% (平成30年度)	100%
市民1人1日あたりのごみ排出量を減少します	779g (平成29年度)	706g
リサイクル率を向上します	9.9% (平成29年度)	12%

(2) 生活排水の適正な処理を推進します

公共下水道事業計画区域外の生活排水の適正な処理を推進することを目的に、単独処理浄化槽および汲み取り便槽から合併処理浄化槽に転換する世帯や新たに合併処理浄化槽を設置する世帯を支援します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
合併処理浄化槽の設置件数を増加します	205基 (平成30年度)	220基

第4節 環境資源を活かした地域づくり

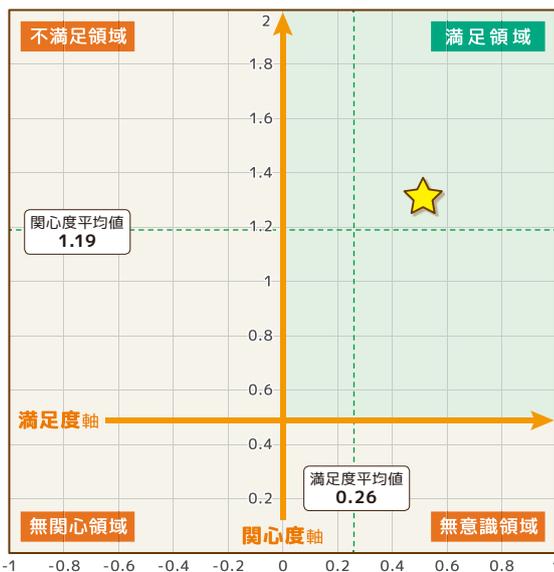
みんなで実現しよう

- 温室効果ガスの排出削減に取り組み環境負荷の少ない地域社会
- 豊かな自然環境を次世代へ引き継いでいく地域社会

まちづくり指標（めざそう値）

指 標	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
市民の環境資源を活かした地域づくりに関する関心度を向上します ※上限値を2、下限値をマイナス2に設定し算出	1.322	1.500

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



水の源であり、地球温暖化防止のために重要な森林

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 温室効果ガスの排出量の抑制
- ★ 重点保全地点・地区（31か所）の設定目標を達成



関係する
個別計画

- 第2期西条市環境基本計画（平成29年度～令和8年度）
- 西条市第3期地球温暖化対策実行計画（平成28年度～令和2年度）
- 生物多様性西条市地域連携保全活動計画（平成27年度～令和6年度）

施策の内容

(1) 地球にやさしいまちづくりを推進します

市民、企業および行政が一体となって地球温暖化対策に取り組むことができるよう、市民や企業に対して地球温暖化対策に関する意識を啓発するとともに、環境に配慮した市民、企業による取組を応援します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
再生可能エネルギーの導入を促進します	法律に基づく事業として適切に実施します	
公共施設からの温室効果ガスの排出を抑制します	法律に基づく事業として適切に実施します	

(2) 自然環境の保全に努めます (第2章第1節の再掲)

市全域における生物多様性の保全を図ることを目的に、重要保全地点・地区における絶滅危惧種を含めた重点保全種の保護に取り組むとともに、それらをはぐくむ生態系全体を意識した活動を支援するなど、生物多様性地域連携保全活動を推進します。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
自然環境を守る活動に取り組む市民団体を増加します (累計)	8団体 (令和元年度)	10団体
市内で開催される自然観察会・ワークショップの参加者数を増加します	126人 (平成30年度)	140人

第5節 上下水道の整備（A上水道）

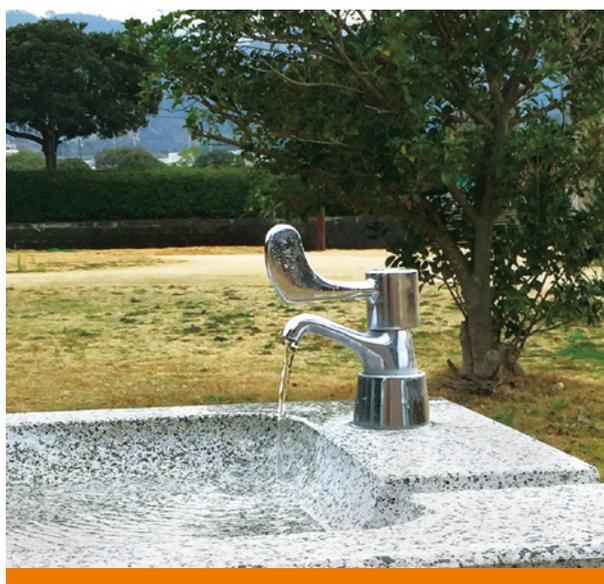
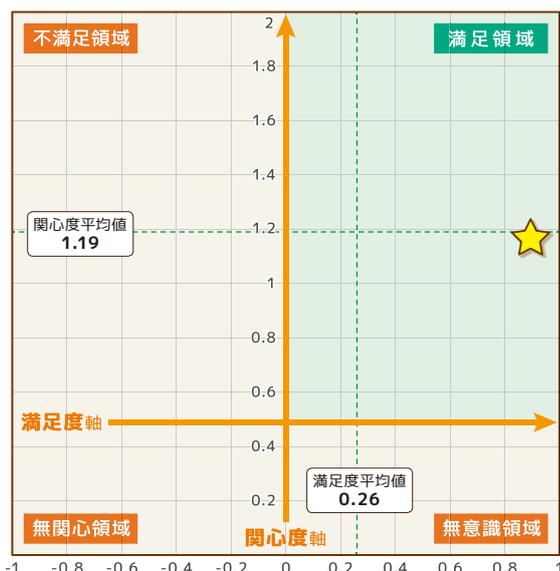
\\ みんなで実現しよう //

- 安心して安全でおいしい水が飲める住みやすい地域社会
- どんなときも水を利用することができる安心して暮らせる地域社会
- 将来も変わらず安定して水が供給される環境が整った地域社会

まちづくり指標（めざそう値）

指 標	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
住みやすいと回答する市民の割合を向上します	38.5%	60.0%

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



将来にわたり安心・安全な水を供給

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 有収率^{※1}の向上
- ★ 水道事業の経営指標の達成率向上



^{※1}「有収率」とは、配水池等から配水する水量のうち、水道料金の徴収対象となった水量の割合を示す数値。

関係する
個別計画

- 西条市水道ビジョン（平成22年度～令和6年度）

施策の内容

(1) 水道施設の整備を図ります

安心でおいしい水を利用し続けることができるよう、水道施設の整備をすすめます。

上水道施設については、水質管理、施設管理、水量不足の解消及び老朽化施設の更新や耐震化などをすすめます。また、現存する簡易水道施設および西ひうち専用水道施設については、上水道事業に統合して既存施設の改良および拡張を行うとともに、水量不足および地下水の塩水化区域の改善に取り組みます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
配水管の耐震化率を向上します (累計)	30.4% (平成30年度)	31.0%
基幹管路の耐震化率を向上します (累計)	65.9% (平成30年度)	70.0%

(2) 水道事業の経営基盤を強化します

水道事業の経営基盤を強化することを目的に、水道事業の経営統合に取り組みます。また、水道利用者の負担公平を図ることを目的に、適正な水道料金となるよう見直しをすすめます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
経常収支比率を向上します	111.9% (平成30年度)	113.0%
企業債残高対給水収益比率※2を抑制します	727.8% (平成30年度)	600.0%

※2 「企業債残高対給水収益比率」とは、給水収益に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。

第5節 上下水道の整備（B下水道）

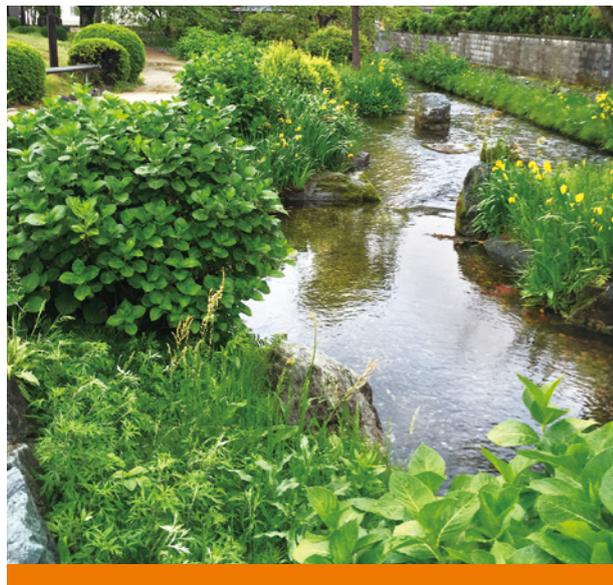
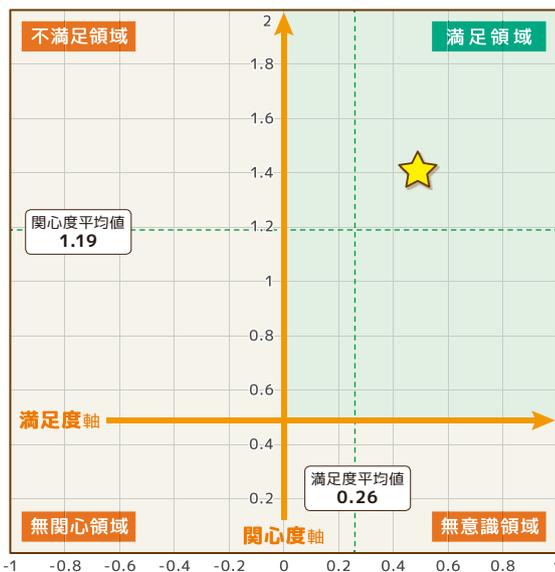
\\ みんなで実現しよう //

- 水洗トイレが使える清潔で快適な住みよい地域社会
- まちの川や海の水質がきれいな環境の地域社会
- 浸水に強く安心して暮らせる地域社会

まちづくり指標（めざそう値）

指 標	基準値（令和元年度）	目標値（令和6年度）
住みやすいと回答する市民の割合を向上します	38.5%	60.0%

【市民の満足度・関心度 領域マップ】



下水道は暮らしと自然を支えています

めざそう値を
達成する
ポイントはここだ！
(施策の決定要因)

- ★ 公共下水道処理人口普及率の向上
- ★ 都市浸水対策達成率※1の向上
- ★ 経費回収率※2の向上



※1 「都市浸水対策達成率」とは、概ね5年に1度の大雨に対して、市街地（用途区域）において公共下水道に浸水対策が完了している区域の割合。

※2 「経費回収率」とは、下水道使用料で回収すべき汚水処理経費（公費負担分を除く）をどの程度使用料で賄えているかを表した経営指標。

関係する
個別計画

- 西条市公共下水道事業計画（令和2年度～令和6年度）

施策の内容

(1) 下水道の整備を図ります

公共下水道事業計画区域内の生活排水の適切な処理を図ることを目的に、污水管渠、終末処理場などの汚水処理施設の整備をすすめます。また、公共下水道事業計画区域の設定については、効率的な事業を推進することができるよう、経済性やそれぞれの地域の特性に応じた汚水処理方法を検討し、社会情勢の変化に応じて適宜見直しをすすめます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
公共下水道汚水整備率を向上します (累計)	81.6% (平成30年度)	86.5%
小規模下水道処理場統廃合率を向上します (累計)	66.7% (平成30年度)	100%

(2) 市街地の浸水対策施設の整備を図ります

市街地における浸水対策を図ることを目的に、引き続き東予地区の三津屋雨水ポンプ場の整備をすすめます。また、西条地区ではポンプ増設によって排水能力の向上を図るとともに、雨水幹線の整備をすすめます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
雨水ポンプ場計画能力整備率を向上します (累計)	69.3% (平成30年度)	75.4%

(3) 健全な下水道事業を目指します

水路等の水質向上と使用料収入の増加を図ることを目的に、下水道未接続世帯の接続 (水洗化) を推進します。また、下水道利用者の負担公平と経営の健全化を図ることを目的に、下水道使用料の見直しをすすめます。

成果指標 (KPI)	基準値	目標値 (令和6年度)
水洗化率を向上します (累計)	93.3% (平成30年度)	94.5%